



新入学児童を交通事故から守ろう!



間もなく新年度が始まり、児童・生徒が新学年となります。
特に新入学児童は、道路での安全な行動が身についていません。

小学1年生の歩行中の負傷者は、小学6年生の約3.5倍となっています。

小学生の交通事故（歩行中）の特徴（石川県・令和元年中）

● 小学生の歩行中の交通事故の負傷者は、

- ・ 3月・6～7月と10～11月が多い
- ・ 午前7時台、午後3～5時台の登下校中が多い
- ・ 交差点内が多い
- ・ 横断中が全体の約8割



子供の特性

1つのものに注意が向くと、それに集中してしまい、まわりのことに気付かなくなる傾向にあります。



道路で子供を見かけたら、動きに注意し、危険を予測!

通勤・帰宅の際の安全運転もお願いします!

◇新入学児童の保護者の方へ◇

通学路等を一緒に歩き、止まる場所や信号の見方などを**具体的に、繰り返し**教えてあげましょう!

また、子供は大人の行動を見てマネをします。模範となる行動をとりましょう。



ツイッターアカウントのフォローをお願いします!【石川県警察交通安全情報@IP_koutuu_anzen】

◇ 県警のウェブサイトにも掲載しています。(アドレス www2.police.pref.ishikawa.lg.jp/)

◇ 毎月1日、15日(土・日・祝の場合、翌平日)に新情報を配信します。

